



Graduate School of

# Humanities

## 教養デザイン研究科

### 教養の新しい意義と形を 創造(デザイン)する

教養デザイン研究科は、2008年度に「人間性とその適正な環境の探求」を教育研究の目標として開設した、新しい教養系の研究科です。研究分野として、「思想」、「文化」、「平和・環境」の3コースを設置しています。

教養デザイン研究科の特色は次の3点にあります。

第1には、複数の教員が学際的な研究指導にあたり、1つの専門領域だけに偏らない総合的な研究指導を行っています。第2には、大学院の国際化に対応して、教育研究における国際的な連携を深め、海外へと開かれた研究科を目指しています。また、海外指定校制度を設け、本学の海外協定校から優秀な留学生を受け入れています。第3には、社会人に対して広く門戸を開放していることです。大学卒業後、それぞれの社会経験から得た学問的テーマの探求を希望する社会人を受け入れ、生涯学習社会に積極的に対応しています。

大学院事務室（和泉第一校舎1F）

※事務取扱時間（開室時間）はHPで確認してください。

電話☎03-5300-1529 Mail✉humanity@mics.meiji.ac.jp

※休業期間やイベント等により開室時間は変更となる場合があります。



教養デザイン研究科  
Webページ

<https://www.meiji.ac.jp/humanity/index.html>



入学者の受入方針  
(アドミッション・ポリシー)

[https://www.meiji.ac.jp/humanity/policy/graduate\\_op.html](https://www.meiji.ac.jp/humanity/policy/graduate_op.html)



教育課程編成・実施方針  
(カリキュラム・ポリシー)

[https://www.meiji.ac.jp/humanity/policy/graduate\\_cp.html](https://www.meiji.ac.jp/humanity/policy/graduate_cp.html)



学位授与方針  
(ディプロマ・ポリシー)

[https://www.meiji.ac.jp/humanity/policy/graduate\\_dp.html](https://www.meiji.ac.jp/humanity/policy/graduate_dp.html)

## ●● 人材養成その他の教育研究上の目的

### 教養デザイン研究科

教養デザイン研究科は、21世紀において人類が直面している諸課題を総合的・学際的に考察し、公共的観点に立って主体的に行動することのできる人材の養成を目指す。教育研究のテーマは「人間性とその適正な環境の探求」と、新時代にふさわしい「知の創造（デザイン）」である。博士前期課程では、科学技術の飛躍的発展によって生じた倫理的諸問題、グローバル化が進む現代世界における異文化理解、脱領域化状況の中での平和構築、自然環境との共生、これらの諸問題を総合的に考察し、解決へと導くことのできる高度な教養人の育成を目的とする。博士後期課程では、思想、文化、平和・環境の三つの領域において、自立した研究者の育成を目的としている。課程博士論文の作成に力点を置き、研究業績の蓄積を促進することによって、大学教員など研究職において活躍できる人材の育成を目的とする。

### 教養デザイン専攻

教養デザイン専攻では、人類が直面する諸課題を包括的に探究するため、「思想」、「文化」及び「平和・環境」の3つの領域研究コースを設置している。文理を融合し、総合化された知の創造と現代社会における新たな倫理の探求を目指す。博士前期課程では、科学技術の著しい発展、グローバル化の到来など、激変する現代社会において、生涯学習をも視野に入れて、高度な教養をデザイン（創造）できる人材の養成を目指す。博士後期課程では、博士前期課程で身につけた知識を活かしながら、更に自立して研究活動を行える人材の養成を目指す。

## ●● 教育課程編成の考え方・特色

教養デザイン研究科は、「人間性とその適正な環境の探求」をテーマとして、哲学・倫理学などの人文科学、法学・政治学などの社会科学、環境科学・生命科学などの自然科学の各分野から専門家を集めて教員とし、カリキュラムを組みました。学生は、次の3つのコースのうち、1つを選択することになります。

### 「思想」領域研究コース

現代社会を読み解く鍵となる哲学・倫理・宗教について、グローバルかつアクチュアルな視点から考察していきます。また、現代倫理や現代思想に関する多面的研究にも取り組んでいます。

### 「文化」領域研究コース

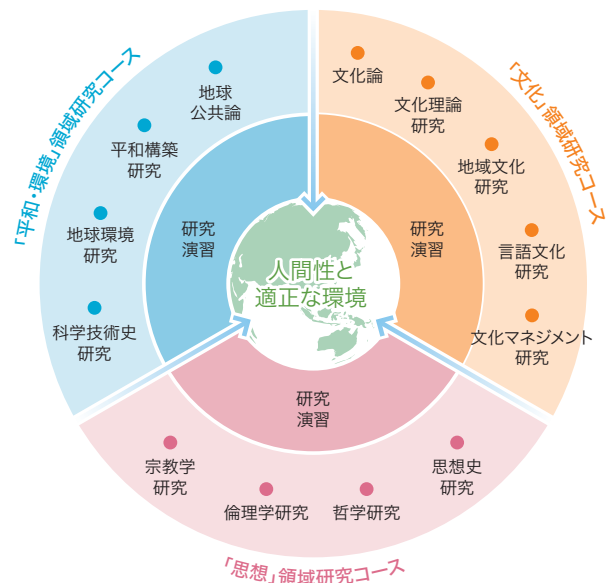
人間性の発現として文化を捉え研究します。共生社会における異文化理解ということを中心に、マイノリティの文化にも焦点をあて、文化マネジメントといった分野にも取り組んでいます。

### 「平和・環境」領域研究コース

戦争・紛争と平和構築の問題、経済開発や貧困問題と平和の問題、また自然との共生の問題を中心に研究します。民族紛争、環境との関わり、科学技術と安全性の問題などを、幅広い視点で研究しています。

これらのコースは、他の領域研究コースの科目も取り込んだきわめて学際的な研究が行えるよう設計されています。

カリキュラム概念図



## カリキュラム一覧

### 博士前期課程

共通必修科目	
論文作成特論	佐藤 公紀

#### 【「思想」領域研究コース】

コース必修科目	
思想領域研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	岩野 卓司
思想領域研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	釜崎 太
思想領域研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	澤井 和彦
思想領域研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	西川 和孝
思想史領域研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	本間 次彦
思想史領域研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	井上 善幸
思想史領域研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	伊藤 剣
思想史領域研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	田中 ひかる

コース選択科目	
思想領域研究特論Ⅰ(贈与論)	岩野 卓司
思想領域研究特論Ⅱ(ジェンダー論の基礎)	高峰 修
思想領域研究特論Ⅲ(自己を省みる、自己について語る)	澤田 直
思想領域研究特論Ⅳ(現代社会とスポーツ)	釜崎 太
思想領域研究特論Ⅴ(中国西南地域の歴史)	西川 和孝
思想領域研究特論Ⅵ(スポーツ政策とビジネス)	澤井 和彦
思想領域研究特論Ⅶ(運動生理学)	一之瀬 真志
思想領域研究特論Ⅷ(ヘルスコミュニケーション)	宮脇 梨奈
思想領域研究特論Ⅸ(中国近代思想)	志野 好伸
思想史領域研究特論Ⅰ(イマージュの解体学)	井上 善幸
思想史領域研究特論Ⅱ(日本政治思想史(17~19世紀))	本間 次彦
思想史領域研究特論Ⅲ(日本古代の社会と文学)	伊藤 剣
思想史領域研究特論Ⅳ(キリスト教美術史)	瀧口 美香
思想史領域研究特論Ⅴ(自己究明の諸相)	美濃部 仁
思想史領域研究特論Ⅵ(近現代の社会変革思想)	田中 ひかる

### 博士後期課程

共通選択科目	
現代教養総合研究Ⅰ	丸川 哲史
現代教養総合研究Ⅱ	加藤 徹

#### 【「思想」領域研究コース】

コース必修科目	
研究論文指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	岩野 卓司
研究論文指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	本間 次彦
研究論文指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	井上 善幸
研究論文指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	釜崎 太

コース選択必修科目	
思想領域特別研究	岩野 卓司
思想史領域特別研究	美濃部 仁
思想史領域特別研究	本間 次彦
思想史領域特別研究	釜崎 太

#### 【「文化」領域研究コース】

コース必修科目	
文化理論研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	広沢 絵里子
文化理論研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	鈴木 哲也
文化理論研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	畑中 基紀
文化理論研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	神田 正行
文化理論研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	嶋田 直哉
地域文化研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	虎岩 直子
地域文化研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	池田 功
地域文化研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	加藤 徹
地域文化研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	山岸 智子
地域文化研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	丸川 哲史
地域文化研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	佐久間 寛
地域文化研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	前田 更子
地域文化研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	ネルソン、リンジー-R.

コース選択科目	
文化論研究特論Ⅰ(比較文化研究)	中村 和恵
文化論研究特論Ⅱ(現代文化へのアプローチ)	山岸 智子
文化論研究特論Ⅲ(フィールドワークと民族誌)	佐久間 寛
文化論研究特論Ⅳ(映画論)	ネルソン、リンジー-R.
文化理論研究特論Ⅰ(日本語表現論)	黒崎 典子
文化理論研究特論Ⅲ(近代日本文学)	畑中 基紀
文化理論研究特論Ⅳ(日本古典文芸)	神田 正行
文化理論研究特論Ⅴ(自伝理論)	広沢 絵里子
地域文化研究特論Ⅰ(現代文化研究)	嶋田 直哉
地域文化研究特論Ⅱ(中国語圏)	加藤 徹
地域文化研究特論Ⅲ(英語圏)	虎岩 直子
地域文化研究特論Ⅳ(ドイツ語圏)	佐藤 公紀
地域文化研究特論Ⅴ(フランス語圏)	前田 更子
地域文化研究特論Ⅵ(その他語圏)	薩摩 秀登
地域文化研究特論Ⅶ(中東象象論)	ハティ ハーニ
言語文化研究特論Ⅰ(言語論と批評理論)	鈴木 哲也
言語文化研究特論Ⅱ(スペインの名著)	大楠 栄三
言語文化研究特論Ⅲ(東アジア歴史文化比較論)	丸川 哲史
文化マネジメント研究特論(芸能と国家・社会)	中村 雅之

#### 【「文化」領域研究コース】

共通選択科目	
現代教養総合研究Ⅰ	丸川 哲史
現代教養総合研究Ⅱ	加藤 徹

#### 【「文化」領域研究コース】

コース必修科目	
研究論文指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	広沢 絵里子
研究論文指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	虎岩 直子
研究論文指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	鈴木 哲也
研究論文指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	池田 功
研究論文指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	山岸 智子
研究論文指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	加藤 徹
研究論文指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	丸川 哲史

コース選択必修科目	
文化理論特別研究	薩摩 秀登
文化理論特別研究	山岸 智子
地域文化特別研究	加藤 徹
言語文化特別研究	鈴木 哲也

#### 【「平和・環境」領域研究コース】

コース必修科目	
平和構築研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	鳥居 高
平和構築研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	佐原 徹哉
平和構築研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	廣部 泉
平和構築研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	羽根 次郎
地球環境研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	森永 由紀
地球環境研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	浅賀 宏昭
地球環境研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	石山 徳子

コース選択科目	
地球公共論研究特論Ⅱ(自然環境)	森永 由紀
平和構築研究特論Ⅰ(朝鮮半島と世界平和)	李 英美
平和構築研究特論Ⅱ(戦前の日本と世界)	廣部 泉
平和構築研究特論Ⅲ(五市論)	羽根 次郎
平和構築研究特論Ⅳ(経済発展論)	鳥居 高
平和構築研究特論Ⅴ(比較ジェノサイド論)	佐原 徹哉
地球環境研究特論Ⅰ(自然環境)	森永 由紀
地球環境研究特論Ⅱ(先端生命科学技術)	浅賀 宏昭
地球環境研究特論Ⅲ(環境と社会)	石山 徳子
科学技術史研究特論(科学と社会)	勝田 忠広

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

#### 【「平和・環境」領域研究コース】

コース必修科目	
研究論文指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	鳥居 高
研究論文指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	佐原 徹哉
研究論文指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	羽根 次郎
研究論文指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	廣部 泉
研究論文指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	石山 徳子

コース選択必修科目	
平和構築特別研究	鳥居 高
平和構築特別研究	羽根 次郎
地球環境特別研究	森永 由紀
地球環境特別研究	浅賀 宏昭
科学技術史特別研究	勝田 忠広

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

## 映像資料活用による学際的アプローチの醸成プログラム

教養デザイン研究科では、2009年度より新しい教育プログラム「映像資料活用による学際的アプローチの醸成プログラム（略称：映像資料プログラム）」を実施しています。異文化理解や環境問題あるいは紛争や貧困など平和に関する問題への理解を深めるため、ドキュメンタリーなど映像資料を活用するプログラムです。しかし、映像資料にも限界があるために、プログラムでは映像資料の上映と併せて監督やプロデューサーをお呼びし、作った側と見る側が

映像を挟んで、実際に「キャッチボール」することによって、複眼的な思考や視点の醸成することを目的としています。また教養デザイン研究科は学際的研究をその特徴としており、映像資料について、思想的側面から、文化的側面から、さらには社会経済的側面から見ることによって、それぞれの視点を「交差」させていくおもしろさを体験することをねらいとしています。



### 「映像資料活用による学際的アプローチの醸成プログラム」一覧

（講師の肩書きはプログラム実施当時のものです）

テーマ・映像タイトル	講師	開催月
ドドンチャンネル (YouTube)	石田 芳道 (曹洞宗僧侶・芸人)	2025年11月
台湾再拒劇団『明白歌』記録映像東京上映会＋トークセッション	黄 思農 (再拒劇団代表) 曾 伯豪 (『明白歌』出演者)	2025年11月
イラン映画の諸相 — アニメーション「糸杉の陰で」を材料に	石坂 健治 (日本映画大学教授／映画学部長)	2025年10月
ジョルジュ・パタイクとアート — 時と空間のマニエリスム	酒井 健 (法政大学名誉教授)	2025年10月
浦和レッズ後援会「欧州事例にみるクラブ経営への参画手法」	新田 博利 (一般社団法人浦和レッズ後援会前専務理事)	2025年 7月
「平島訪問記」稲垣尚友をめぐる作品、映像、対話	稲垣 尚友 (竹細工職人)	2024年11月
//自由展—朝鮮中高級学校美術部の試み—	会田 誠 (アーティスト)、沖 啓介 (メディア・アーティスト)、姜 康成 (東京朝鮮中高級学校美術科教員)、崔 誠圭 (東京朝鮮中高級学校美術部顧問)	2024年10月
女もすなるフィールドワーク 研究という冒険	笹倉 いる美 (北海道立北方民族博物館学芸主幹)	2024年 6月
「みんな、版画家だった!? —戦後版画運動の起源と成り立ち」	<資料展示のみ>	2023年11月
社会の闇を照らし出すために—樋口健二写真展と映画上映	永田 浩三 (武蔵大学教授)、樋口 健二 (写真家)	2023年10月
僧侶からなる楽隊「坊主バンド」	藤岡 善信 (浄土真宗本願寺派僧侶／「坊主バンド」リーダー)	2023年10月

## 特定課題講座

本研究科では、毎年、「特定課題講座」を開催しています。これは学内外の教員、院生、一般の方による知的・文化的交流をはかるものです。本研究科にはさまざまな専門分野の研究者が集まっているため、本講座ではその多様性を生かしながら、幾人もの専門家がひとつの主題について共同でアプローチしていきます。それにより参加者は、物事がいかに多面的な性格をもっており、それがお互いに密接に関連しているということを発見できるのです。

### 第一部「カオスによる共同性、あるいは基盤的アナキズム」(2025年12月13日)

コーディネーター：岩野卓司 司会：薩摩秀登 丸川哲史 虎岩直子  
発題者：栗原康 究極 Q 太郎 郷原佳以

大学において専門の下部に位置づけられている「教養」の復権を目指し、2024年『野生の教養Ⅱ（一人に一つカオスがある）』（法政大学出版局）が発刊されました。この書籍は、教養デザイン研究科の教員によって書かれたものですが、本書に書かれたものを著名言論人、三人に論じていただき、豊かな議論が展開されました。



### 第二部「中国若者コミュニティ運動—広州と高円寺を繋ぐカルチュラルムーブメント—」(2025年12月20日)

コーディネーター：丸川哲史 司会：加藤徹 コメントレーター：鈴木将久  
登壇者：陳逸飛 馮俊華 万青

中国広州市には多くの芸術家やアクティビストがコミュニティを作って様々な活動をしています。実はその一部が、東京高円寺付近にも流れ込んでいます。よく耳にするニュースは富裕層中国人の流入や投資ですが、そういった人たとはかなり違った行動力とセンスを持つ若者に、存分に日ごろの活動を語っていただきました。



## 2024～2025年度 修士論文テーマ

### ■ 「思想」領域研究コース

- ▶ メディア・スポーツのリアリティ  
—「ヴァーチャル社会」論からの考察—
- ▶ バイエル04レバークーゼンの歴史社会学  
—企業スポーツの組織原理としてのアソシエーション—
- ▶ 中国在住の性的少数者の自己認識と権利意識が形成された要因について
- ▶ スポーツ報道に見る理念的・認知的ナショナリズム  
—日本代表の躍進による変容と同化主義—
- ▶ 媽祖信仰の広がり与中国の伝統社会  
—明清時代を中心として—
- ▶ 現代社会の変化にともない日本における「結婚」はどのように変化するか
- ▶ 運動部活動の地域移行が持つ可能性と課題  
—アソシエーションから実践コミュニティへ—
- ▶ OTTによるスポーツ観戦動機に関する研究
- ▶ ポストモダン社会におけるタトゥーと女性のアイデンティティ  
：ジェンダー秩序のポリティクス

### ■ 「文化」領域研究コース

- ▶ 中上健次における〈音楽〉の形象について
- ▶ 日本文学における吃音障がい研究  
—小島信夫「吃音学院」と三島由紀夫『金閣寺』について—
- ▶ 「生命の島」の民族誌  
—脱植民地化と「自前の文字」の夢—
- ▶ 『オズの魔法使い』の女性像再考  
—ボームの『オズの魔法使い』からMGMの『オズの魔法使』—
- ▶ 民権主義再考  
—1924年における孫文の階級連帯主義を中心に—
- ▶ 中国山西「社火」の歴史と現状  
—世界の無形文化遺産保護との比較研究—
- ▶ 武士道精神についての考察  
—現代創作作品を中心に—
- ▶ 川口市の言語景観分析  
—多文化化とのかかわりに着目して—
- ▶ 日中における2010年代のヒーロー像を比較する  
—『ドラゴンボールZ 神と神』と『西遊記ヒーロー・イズ・バック』を中心に—
- ▶ 日米における映画検閲に関する研究  
—プロダクション・コードの緩和と旧映倫の改組およびレイティングシステムの導入—
- ▶ 新型コロナウイルスの影響を受けた演劇の経験価値の変容
- ▶ 遠藤周作『沈黙』論
- ▶ 布袋劇と人形浄瑠璃における観客受容の比較研究  
—伝統芸能の現代化プロセスを中心に—
- ▶ 現代のカワイイ文化に関する考察  
—キャラクターを中心に—
- ▶ 三島由紀夫作品における父親の表象  
—『仮面の告白』、『金閣寺』と『午後の曳航』を中心に—
- ▶ 日中動物観に関する比較研究  
—犬を中心に—
- ▶ 乙女ゲームにおける日中両国の「キャリアウーマン」の表象をめぐる比較研究

### ■ 「平和・環境」領域研究コース

- ▶ 民間軍事会社と政治性  
—トルコの民間軍事会社SADATの分析を通じて—
- ▶ 両大戦間期太平洋地域における女性たちのつながり  
—太平洋問題調査会と汎太平洋婦人会議を中心に—
- ▶ 琉球における「藩」号と日琉関係についての研究  
—1855年琉仏「条約」と1872年琉球藩設置—
- ▶ 日本の人権教育・人権行政における「心」の強調  
—法規制の不在—
- ▶ 第一次国共合作期の湖南農民運動（仮）
- ▶ 周恩来外交における「日中友好」と外交戦略

## 近年の博士学位授与

### 課程博士

学位の種類	論文タイトル	授与年度
博士(学術)	行動する知識人・橋樑 —大正生命主義と中国経験—	2019年度
博士(学術)	谷川雁の反定型音響 —「工作者」のダイナミズムについて—	2020年度
博士(学術)	アンヌ・エペールのケベック —視線の舞台から風景へ—	2020年度
博士(学術)	日本と中国のテレビCMの広告表現における共通要素の研究 —比較文化論の観点から—	2021年度
博士(学術)	日本語オノマトへの仏語訳研究 —宮澤賢治童話を資料として—	2021年度
博士(学術)	石川啄木の受容 —日本統治期の台湾を例に	2023年度
博士(学術)	中国近代文学における石川啄木の受容	2023年度
博士(学術)	英米のSF映像作品に潜在する資本主義のイデオロギー —ロボット・AI・サイボーグVS人間という対立—	2024年度
博士(学術)	清末中国における国民教育構想と伝統思想の再編	2025年度
博士(学術)	日本におけるプロスポーツの市民的公共性への接近と課題 —共的セクターとしての役割を中心に—	2025年度

## ●● 院生からのメッセージ



### 関 桃花

SEKI Momoka  
教養デザイン専攻  
「文化」領域研究コース  
博士前期課程 2年

#### クリティカルに新たな教養を生み出す

教養デザイン研究科の先生・学生には、専門領域や関心がそれぞれにあります。授業内ではさまざまな視点が共有されるので、ものごとを複眼的に、そしてクリティカルに考える力が養われます。そんな私の研究テーマは「現代アートからインターセクショナリティを考える」です。従来の学問の区分では分断され、その結果見落とされた人々や作品にスポットライトを当てることは、新たな教養の形成につながると考えます。研究の道のは険しいですが、成し遂げる力がつく環境がここにはあります。

博士前期課程  
Master's Program

Q 師事している教員は？ A 丸川 哲史 教授

丸川先生のご専門は近現代東アジアの思想・文化研究です。ゼミ生の関心や研究もその範囲の中にあり、みんなで研究内容に関わる映画や芝居を見に出かける機会もあります。授業では、研究者の共通言語である西洋思想についての議論も行います。複雑な東アジアについて考え、語るための力がつく、知的な刺激が満載の研究室です。

教員情報 P.107



### 宮城 蓮

MIYAGI Ren  
教養デザイン専攻  
「平和・環境」領域研究コース  
博士後期課程 2年

#### 知を交流し学びを高めあえる場所

私は博士前期課程ではトルコの民間軍事会社の政治活動について研究してきました。民間軍事会社は西側の軍事大国の企業が数多く活動をしてきましたが、近年ではこれまでサービスの受け取り手であった新興国でも設立が相次いでいます。博士後期課程では「グローバル・サウスにおける軍事の民営化の動向」を研究対象としています。教養デザイン研究科は異なる専門領域の先生や院生が集まっており、多様な知識や観点を交流させ、研究者として必要な教養を習得することができる場所です。

博士後期課程  
Doctoral Program

Q 師事している教員は？ A 佐原 徹哉 教授

佐原先生はテロリズムや比較紛争学の専門家であり、幅広い学識を持たれています。さまざまな言語を習得されているので、ゼミでは院生の興味のある文献の翻訳指導なども行われています。所属する院生の研究するテーマはさまざまで、みんなで議論しながら自身の研究を深めることができます。

教員情報 P.108

## ●● 修了生からのメッセージ



### 銭 海英

QIAN Haiying  
教養デザイン専攻  
「思想」領域研究コース  
博士後期課程  
2026年3月修了

#### 厳しい訓練から得た学問の喜び

留学生活の中で多様なナショナリズム研究に触れ、中国ナショナリズムに関心を抱くようになりました。博士論文では、清朝末期に科举廃止を契機として導入された近代学校制度下で編纂された初等教科書を主な研究対象とし、伝統思想の再編を通じて政府改革派が模索した「もうひとつの中国ナショナリズム」の特質を考察しました。この視座は、現代中国ナショナリズムを理解するうえでの史的基盤を明らかにするものです。

博士後期課程  
Doctoral Program

Q 師事していた教員は？ A 本間 次彦 教授

本間先生は、門下生の博士論文指導に心血を注ぎ、一次資料を丹念に共に解読してくださる学者です。私にとって、研究への自覚の深まりや学問の興味は、すべてこの厳しくも貴重な訓練のおかげです。先生はハリネズミ型の学者であり、私は狐型の学徒にすぎません。現実には先生のような学者には及ばぬものの、心はその理想を追い求めています。

教員情報 P.106

## 教員一覧

### 「思想」領域研究コース

※2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※各教員による研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■「思想」領域研究コース 教員一覧 >>>



#### 岩野 卓司

IWANO Takuji

Ph.D.  
教授

研究分野 哲学／思想史／日本思想／暴力の系譜学／言語と政治

【最終学歴】東京大学大学院／パリ第4大学大学院  
【担当授業科目】思想領域研究演習／思想領域研究特論Ⅰ  
【研究テーマ】思想史における暴力の解釈／共同体と共同性の研究／哲学・宗教・人類学における贈与論／日本思想史



#### 釜崎 太

KAMASAKI Futoshi

博士(教育学)  
教授

研究分野 身体教育論／ドイツスポーツ研究

【最終学歴】広島大学大学院  
【担当授業科目】思想領域研究演習／思想領域研究特論Ⅳ  
【研究テーマ】市民社会とプロスポーツ及びスポーツクラブの関係／メディア・身体を中心としたスポーツ研究



#### 澤井 和彦

SAWAI Kazuhiko

博士(教育学)  
准教授

研究分野 スポーツの制度、トップスポーツのマネジメント、企業スポーツ、スポーツの社会的インパクト、アスリートのキャリアトランジション、eスポーツ、スポーツ共創

【最終学歴】東京大学大学院教育学研究科博士課程  
【担当授業科目】思想領域研究演習、思想領域研究特論Ⅵ  
【研究テーマ】スポーツの制度、トップスポーツのマネジメント、企業スポーツ、大学スポーツ、スポーツの社会的インパクト、アスリートのキャリアトランジション、eスポーツ、スポーツ共創



#### 西川 和孝

NIISHIKAWA Kazutaka

博士(史学)  
准教授

研究分野 中国西南地区の社会経済史

【最終学歴】中央大学大学院  
【担当授業科目】思想領域研究演習／思想領域研究特論Ⅴ  
【研究テーマ】雲南省における漢族移民の歴史



#### 井上 善幸

INOUE Yoshiyuki

教授

研究分野 ヨーロッパ文学と思想／視覚芸術／サミュエル・ベケット／西洋精神史

【最終学歴】関西大学大学院  
【担当授業科目】思想領域研究演習／思想史領域研究特論Ⅰ  
【研究テーマ】モダニズム文学／ヨーロッパ精神史



#### 本間 次彦

HONMA Tsuguhiko

教授

研究分野 中国前近代思想

【最終学歴】東京大学大学院  
【担当授業科目】思想史領域研究演習／思想史領域研究特論Ⅱ  
【研究テーマ】帝政後期中国の思想状況に対する多角的分析(文学・宗教なども含む)



#### 田中 ひかる

TANAKA Hikaru

博士(社会学)  
教授

研究分野 社会思想史／社会運動史／ドイツ近現代史／アナーキズム史／移民史

【最終学歴】一橋大学大学院  
【担当授業科目】思想史領域研究演習／思想史領域研究特論Ⅵ  
【研究テーマ】アナーキズム史、国境を越える人々が作り出す思想と社会運動



#### 伊藤 剣

ITO Ken

博士(文学)  
教授

研究分野 日本古典文学

【最終学歴】早稲田大学大学院  
【担当授業科目】思想史領域研究演習／思想史領域研究特論Ⅲ  
【研究テーマ】文学研究の立場から見た日本古代の神話の研究



#### 瀧口 美香

TAKIGUCHI Mika

Ph.D.  
准教授

研究分野 ビザンティン美術史／キリスト教図像学

【最終学歴】ロンドン大学大学院  
【担当授業科目】思想史領域研究特論Ⅳ  
【研究テーマ】ビザンティン写本挿絵／初期キリスト教聖堂舗床モザイク／ビザンティン聖堂フレスコ壁画



#### 一之瀬 真志

ICHINOSE Masashi

博士(学術)  
教授

研究分野 運動生理学

【最終学歴】筑波大学大学院  
【担当授業科目】思想領域研究特論Ⅶ(運動生理学)  
【研究テーマ】運動時の循環・呼吸・代謝の調節／反射性循環調節／運動と健康



#### 志野 好伸

SHINO Yoshinobu

博士(文学)  
教授

研究分野 中国哲学、中国文学思想

【最終学歴】東京大学大学院  
【担当授業科目】思想領域研究特論Ⅹ  
【研究テーマ】近代中国における西洋哲学の受容と「中国哲学」の創出

### 「文化」領域研究コース

※2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※各教員による研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■「文化」領域研究コース 教員一覧 >>>



#### 広沢 絵里子

HIROSAWA Eriko

教授

研究分野 ドイツ文学／自伝研究

【最終学歴】立教大学大学院  
【担当授業科目】文化理論研究演習／文化理論研究特論Ⅴ  
【研究テーマ】精神分析と自伝／ドイツ語圏の文化



**鈴木 哲也** 教授  
SUZUKI Tetsuya

研究分野 言語社会学

【最終学歴】英国リーズ大学大学院  
【担当授業科目】文化理論研究演習／言語文化研究特論Ⅰ  
【研究テーマ】コミュニケーション・テクノロジーの発達と社会構造の変化の相関性



**嶋田 直哉** 博士(文学) 教授  
SHIMADA Naoya

研究分野 日本近代文学／日本現代演劇研究

【最終学歴】立教大学大学院  
【担当授業科目】文化理論研究演習／地域文化研究特論Ⅰ  
【研究テーマ】永井荷風研究／日本現代演劇研究



**畑中 基紀** 教授  
HATANAKA Motoki

研究分野 近代日本文学・表現論


【最終学歴】早稲田大学大学院  
【担当授業科目】文化理論研究演習／文化理論研究特論Ⅲ  
【研究テーマ】物語芸術におけるリアリティの構造



**神田 正行** 博士(文学) 教授  
KANDA Masayuki

研究分野 日本近世文学(散文)

【最終学歴】慶應義塾大学大学院  
【担当授業科目】文化理論研究演習／文化理論研究特論Ⅳ  
【研究テーマ】日本文芸と中国文芸の交渉



**虎岩 直子** Ph.D. 教授  
TORAIWA Naoko

研究分野 現代アイルランド文学／イギリス諸島とカナダの文化


【最終学歴】東京大学大学院／Sussex University  
【担当授業科目】地域文化研究演習／研究論文指導  
【研究テーマ】現代アイルランド社会と文学／トランスレーション論／パブリック・アート



**池田 功** 博士(文学) 教授  
IKEDA Isao

研究分野 日本近代における文学と文化及び社会

【最終学歴】明治大学大学院  
【担当授業科目】地域文化研究演習／研究論文指導  
【研究テーマ】日本近代の文芸研究／病と人間の文化研究／死生観の研究／石川啄木研究



**加藤 徹** 教授  
KATO Toru

研究分野 中国伝統演劇(京劇)／中国文化

【最終学歴】東京大学大学院  
【担当授業科目】地域文化研究演習／地域文化研究特論Ⅱ  
【研究テーマ】中国の文化を、日本社会との比較という視点もふまえて研究



**山岸 智子** 博士(学術) 教授  
YAMAGISHI Tomoko

研究分野 イラン地域研究／文化論


【最終学歴】東京大学大学院  
【担当授業科目】文化論研究特論／地域文化研究演習  
【研究テーマ】イスラームとグローバル化の諸問題、イメージとイデオロギーの関連性、など



**丸川 哲史** 博士(学術) 教授  
MARUKAWA Tetsushi

研究分野 東アジア思想・文化論

【最終学歴】一橋大学大学院  
【担当授業科目】地域文化研究演習／言語文化研究特論Ⅲ  
【研究テーマ】20世紀における文化と芸術の運命、知識人(芸術家)の役割



**前田 更子** 博士(史学) 教授  
MAEDA Nobuko

研究分野 フランス近現代史、地域研究(フランス)

【最終学歴】東京都立大学大学院  
【担当授業科目】地域文化研究演習／文化論研究特論Ⅴ  
【研究テーマ】近代フランスの教育とカトリシズムに関する社会的研究



**佐久間 寛** 博士(学術) 准教授  
SARUMA Yutaka

研究分野 文化人類学／アフリカ地域研究

【最終学歴】東京外国語大学大学院  
【担当授業科目】地域文化研究演習／文化論研究特論Ⅲ  
【研究テーマ】負債をめぐる民族誌学的研究、フランス語圏アフリカの文化研究



**中村 和恵** 教授  
NAKAMURA Kazuo

研究分野 比較文学・比較文化／英語圏文学

【最終学歴】東京大学大学院  
【担当授業科目】文化論研究特論Ⅰ  
【研究テーマ】旧英領植民地を中心とする非西洋圏の文化・文学の比較研究、少数者の目に関心がある



**ネルソン, リンジー R.** 博士 准教授  
NELSON Lindsay R.

研究分野 現代日本映画、日本ポップカルチャー

【最終学歴】The University of Southern California  
【担当授業科目】文化論研究演習／文化論研究特論Ⅳ  
【研究テーマ】現代日本ホラー映画とニューメディア、日本映画と「家」の概念、動画論文



**佐藤 公紀** 博士(学術) 専任講師  
SATO Kiminori

研究分野 ドイツ・ヨーロッパ近現代史／現代ドイツ政治

【最終学歴】東京大学大学院  
【担当授業科目】地域文化研究特論Ⅳ  
【研究テーマ】19世紀後半～20世紀前半のドイツにおける刑罰制度・犯罪生物学・釈放者扶助の歴史的展開／現代ドイツの右翼ポピュリズム



## 薩摩 秀登

SATSUMA Hideto

博士(社会学)  
教授

研究分野 西洋中・近世史／東欧史

【最終学歴】一橋大学大学院  
【担当授業科目】地域文化研究特論VI／文化理論特別研究  
【研究テーマ】東欧の中・近世における政治および社会構造と文化



## 浅賀 宏昭

ASAGA Hiroaki

理学博士  
教授

研究分野 学際的生命科学および生命科学教育

【最終学歴】東京都立大学大学院  
【担当授業科目】地球環境研究演習／地球環境研究特論II  
【研究テーマ】動物細胞の機能、バイオテクノロジーの社会実装、食料問題、生命科学実験教材

## 「平和・環境」領域研究コース

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員による研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 「平和・環境」領域研究コース 教員一覧 >>>



## 鳥居 高

TORII Takashi

教授

研究分野 多民族国家における政治・経済システムの研究

【最終学歴】中央大学  
【担当授業科目】平和構築研究演習／平和構築研究特論IV  
【研究テーマ】多民族国家の社会安定装置について、市民権、政党、選挙、経済テッククラートなどに焦点を当てている



## 勝田 忠広

KATSUTA Tadahiro

博士(工学)  
教授

研究分野 使用済核燃料管理／プルトニウム処分問題

【最終学歴】広島大学大学院  
【担当授業科目】科学技術史研究特論／科学技術史特別研究  
【研究テーマ】原子力・核燃料サイクル政策／原子力安全規制



## 佐原 徹哉

SAHARA Tetsuya

博士(文学)  
教授

研究分野 東欧現代史・中東現代史・紛争研究

【最終学歴】東京大学大学院  
【担当授業科目】平和構築研究演習／研究論文指導  
【研究テーマ】民族問題、テロリズム、難民問題、紛争研究



## 廣部 泉

HIROBE Izumi

Ph.D.  
教授

研究分野 日米関係史／地域研究(アメリカ合衆国)

【最終学歴】ハーバード大学大学院  
【担当授業科目】平和構築研究演習／平和構築研究特論II  
【研究テーマ】日米中関係、グローバルヒストリー、米国史、日本近現代史



## 羽根 次郎

HANE Jiro

博士(学術)  
教授

研究分野 中国近現代史／現代中国論

【最終学歴】一橋大学大学院  
【担当授業科目】平和構築研究演習／平和構築研究特論III  
【研究テーマ】中国概念の史的研究／中国共産党史／清末台湾史



## 森永 由紀

MORINAGA Yuki

博士(理学)  
教授

研究分野 気候学・環境科学

【最終学歴】筑波大学大学院  
【担当授業科目】地球公共論研究特論II／地球環境研究特論I  
【研究テーマ】モンゴル国のアイラグ(発酵馬乳)の気候学的研究